



学生と大学図書館

上 看護図書館の夜間利用風景

左下 閲覧室での読書・学習

右下 学生の声を図書館に ー目安箱ー

よんじゃー

CONTENTS

巻頭言	2
特集「図書館をもっと身近に！」	3~7
図書館通信／編集後記	8



キャンパスキャラクター
やまちゃん



2015年8月下旬、「学校が死ぬほどつらい子は図書館へ」「一日いても誰も何も言わないよ。」「図書館にはいろいろな本があるよ。疲れた心によりそのような本がみつかるかも。」という鎌倉市図書館のツイッター発信が話題となった。

「大学図書館」、初等・中等教育段階の「学校図書館」、「公共図書館」「私立図書館」等それぞれにその目的はあるものの、図書館は、知的情報提供を基盤に、相互に連携しながら、利用者の自己実現をサポートする役割をもつものだと考えられる。実際

に、大学図書館の中にはサードプレイスとしての「図書館カフェ」を設置し、アカデミックコミュニティの核として育ち始めているところもある。

本学の第二期中期計画（2016～2021年度）に「学生の自主的な学びと相談の場（ラーニングコモンズ）等を整備する。」という文言が明記された。大学図書館として、「場」、世界のあらゆる学術図書や情報にアクセスできるシステム構築、司書等の人的配置に加え、外国人留学生や社会人学生、障害のある学生を含むすべての利用者の自己実現を可能とする学修環境の整備を一步一步進めていきたい。

山梨県立大学図書館の概要

飯田図書館（飯田キャンパス）

現施設開館 昭和56（1981）年

延床面積 1,187㎡ 座席数 125席

開館時間 月～金 9:00～21:30

（学外者利用・貸出業務 9:00～19:00）

休館日 土曜日、日曜日、年末年始、蔵書点検期間等

蔵書冊数 125,278冊（平成28年3月31日現在）

蔵書の特徴 授業に必要な社会・人文科学系資料を中心に、幅広い分野の資料を収集。



※平成28年度から、飯田キャンパスにある図書館の呼称が「飯田図書館」となりました。

看護図書館（池田キャンパス）

現施設開館 平成6（1994）年

延床面積 1,043㎡ 座席数 119席

開館時間 月～金 9:00～22:30 土 9:00～17:00

休館日 日曜日、祝日、年末年始、蔵書点検期間等

蔵書冊数 83,441冊（平成28年3月31日現在）

蔵書の特徴 主として看護学に関する専門書や学術雑誌を収集するほか、医学系のオンラインデータベースや電子ジャーナルも導入。



左ページ下に記載したように、現在、山梨県立大学には飯田キャンパスに「飯田図書館」、池田キャンパスに「看護図書館」という2つの図書館があります。

今回の特集は、図書館をあらためて「施設」「人」「資料・情報」の面から紹介することで、みなさんにもっと身近に感じていただきたいと思います。

あなたの「書齋」「学習の場」「憩いの場」として是非、図書館をご活用ください！

多彩な施設（コーナー）

図書館は、カウンター、閲覧スペース、開架書架、書庫スペースで構成されています。

館内には、資料の特徴によって様々なコーナーも設けられています。



スタディールーム（看護図書館）
学生のための個人学習スペースです。5室あります。



共同研究室（飯田図書館）
グループでの学習、ミーティングなどにご利用いただけます。



生きるコーナー（看護図書館）
「命の大切さ」「生きること」をテーマとしたエッセイ、闘病記などがあります。



県大文庫（飯田図書館）
本学に関する図書、パンフレット、ちらしなど様々な資料がまとまっています。



複写コーナー（看護図書館）
学内で販売しているコピーカード専用の複写機2台とコイン式複写機（領収書発行機能付き）の1台があります。



小清水文庫（飯田図書館）
故小清水様の寄附で設けられた絵本・紙芝居のコーナーで、毎年、人間形成学科の卒業生の寄贈などにより蔵書が増えています。

図書館を支える“人”－ライブラリースタッフ－

山梨県立大学図書館には、図書館と利用者（学生・教員）を結びつける役割を担う「ライブラリースタッフ（略称：LS）」という組織があります。

スタッフは、本学学生の応募者により構成されるもので、図書館の活性化活動と業務補助を行っています。学生目線で企画・実施される様々な活動は図書館にとって欠かせないものになっています。

<ライブラリースタッフ（LS）のさまざまな活動>

業務補助

当番を決めて、朝の開館準備、返却資料の配架、書架整理、新聞の大学関連記事のチェックなど、図書館職員の業務の手助けをしています。

図書館ツアー

LS自身が企画し、説明や案内をするツアーを新1年生対象に行っています。クイズや景品がある楽しい内容です。

看護図書館では、オープンキャンパスの際に高校生向けのツアーも行っています。



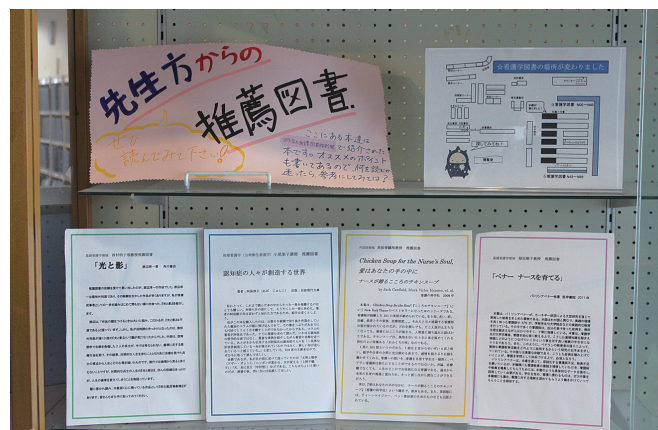
飯田図書館 館内案内

看護図書館 オープンキャンパスツアー



資料展示

看護図書館では先生方からの推薦図書を、飯田図書館ではテーマを決めた関連図書を、それぞれ紹介文を付けて館内に展示しています。





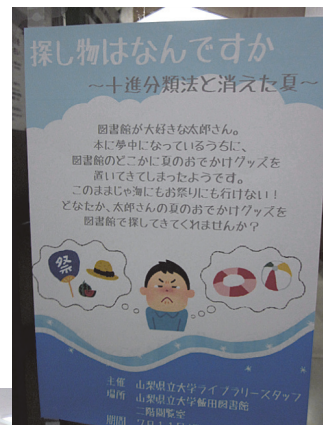
広報の発行

飯田図書館では毎月「新着図書紹介」を作成して図書館内及び大学構内（学生用掲示板など）に掲示しています。

看護図書館では、年4回看護図書館新聞「つばさ」「つばさ しおり版」を発行しています。



十進分類法クイズラリー



イベント開催

学生と図書館を結びつけるユニークなイベントを随時、企画、実施しています。



星空図書館（館内プラネタリウム）

大盛況の古本市



ライブラリースタッフからひとこと

飯田図書館ライブラリースタッフは
ただいま作業中です！

富桜祭では毎年、
古本市や資料展示
を行っています。

季節ごとに
館内の飾り
つけをしています。

図書館の
活性化のために
頑張っています。

2016年度の看護図書館
ライブラリースタッフです。

困った時は、
声をかけて下さい。



図書館は本の宝庫

図書館にある資料の中でもっとも多いものは本です。飯田・看護両館あわせて20万冊を超える本があります。ここでは、学生のみなさんと職員（司書）に、図書館にある本の中からおススメのものを紹介してもらいました。



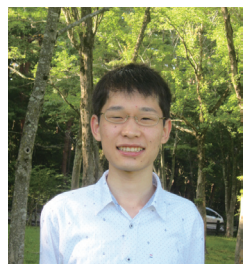
人生の意味を考えるとき

『夜と霧』 V.E.フランクル著 みすず書房

『夜と霧』は、強制収容所から奇跡的な生還を果たしたユダヤ人のV.フランクルによって著されました。精神科医だったフランクルは、収容所でのできごとを記録し、過酷な環境下で希望を失わなかった囚人たちの姿から、生きる意味とは何かを探し求めます。私たちは、自由に、やりたいことができるとそれを幸せと感じます。しかし、災害や病気、あるいは死に直面すると、たちまちさまざまな希望は潰えてしまうでしょう。収容所の囚人たちの多くもそうでした。ところがフランクルは、“人生はどんな状況でも意味がある”と説き、死の淵に立たされても、幸せはまだ近くにあるのではないかと考えたのです。どんな状況でも一瞬一瞬を大切にすること、それこそが生きがいを見出す力になるとフランクルは言います。

かの有名なイエス・キリストの十字架に象徴されるように、人間の生命には、いかなる状況にあってもその一つひとつ、一人ひとりに意味があると私は思っています。その先には苦悩や絶望が待ち受けているかもしれません。しかし、生きる目的や意味を単に求めるのではなく、立たされた状況のなかで、より幸せに生きるために自分は何をしたらいいのか、何をすべきなのかを考えさせてくれる本だと思います。人生の道しるべにもなり得る本かもしれません。苦しい時こそ読んでほしいおすすめの1冊です。

（大学院看護学研究科1年 飯嶋 玲奈）



『兎の眼』 灰谷健次郎著 理論社

一度読んだ本でも、ふとした機会に新しい発見をすることがある。読むたびにそんな発見がある本が、自分にとって良い出会いだと思う。

『兎の眼』は、灰谷氏の代表作として名高く、知っている方も多いのではないだろうか。内容は、新任教師である小谷先生や、学校で一言も口を利かず、先生に心を開かない鉄三を中心とした子どもたちが、周囲とのふれあいの中で、苦しみながらも成長していくという話である。

この本は、決して読むことで、全くその通りだとか、素晴らしい本だとか絶賛する類の作品ではない。むしろ、納得できない点、不完全であることが目立つ作品だ。しかし、だからこそ伝わること、感じるがあるように思う。単純な感動だけで終わるのではないことが、私がこの本を勧める理由だ。この場を借りて、私が最も灰谷氏のメッセージを感じた一文を紹介させていただく。「よわいもの、力のないものを疎外したら、疎外したものが人間としてダメになる。」まだこの本を読んだことのない人、読んだことがある人も、是非、この機会に読んでみてほしい。

（福祉コミュニティ学科3年 渡邊 勇磨）



『ママからの伝言 ゆりちかへ』 テレニン晃子著 書肆侃侃房

著者は2005年秋、妊娠中に脊髄悪性腫瘍だとわかり、出産前に2度手術を行い、2006年2月に長女・柚莉亜（ゆりあ）を出産します。柚莉亜が大人になるまで生きていられないと感じている著者は、娘のために本を残します。「パパのこと」、「友達」、「学校や勉強」、「お掃除や整とん」、「恋と性」、「おしゃれ」etc…。いつか娘が大人になって悩んだり、迷ったりしたときに、よき相談相手となるように。

母親ならではの視点で、娘に寄り添って語りかけるようなアドバイスが書かれています。大人の私が読んでも、思わなくなるほどと納得してしまうほど、様々な知恵に富んでいます。思春期の頃、こんな本があったら、どんなにか助けになるだろうと思います。

著者は、再発を繰り返す癌の治療と、育児をしながらも本を書きつづけ、2008年2月に永眠します。著者の娘への深い思い、夫と娘と一緒に生きたいという思いが切実に伝わってきて、何度読んでも切なく、温かく、泣けてしまう一冊です。

「追記」には、読んでくれた読者に、感謝とともに柚莉亜に手紙を送ってほしいとのメッセージが載っています。柚莉亜がこの本を通じて、皆に愛されるように、最後まで母親としての愛情を感じます。実際、本の編集部には柚莉亜宛てに読者からの手紙がたくさん届いたそうです。看護図書館の「生きる」コーナーに所蔵しています。ぜひ一度手にとってみてください。

（看護図書館司書 青沼 絵里）

図書館は情報拠点

図書館には活字資料以外にも様々な資料・情報が集められています。その中でも視聴覚資料やオンラインデータベースは、使いこなせば学習や調査研究の大きな力となります。

ここでは先生方に、これらの中から授業に役立つものを紹介していただきました。



DVD：乳幼児の発達と保育－こころとからだを育てるあそびの環境－

Vol.1～3 医学映像教育センター

本DVDは、vol.1 0歳児、vol.2 1～2歳児、vol.3 3～5歳児の全3巻構成となっており、保育園や家庭で過ごす子どもたちの日常の姿が生き生きと記録されている。

首がすわり、寝返り、座位の保持、立位と姿勢を変えていくとともに子どもが見える世界が広がっていく様子。母親のあやしに「あー」と嬉しそうに答える子どもの表情、自分から他者に笑顔で働きかけるようになる姿から、社会化の基礎がここにあることを実感する。おもちゃをつかもうと寝返りに挑戦し、ようやくたどり着いた時の「やったよ」という得意げな表情、バランスをうまくとりながら手押し車を押している時の嬉しそうな様子、トンネルを上手にくぐり抜けることができた時の満足げな表情…あたりまえだが、人はこんなに小さい時から何かができるようになるのはうれしいことなのだと思う。

DVDに映し出された子どもから、リアルに接しているときには見過ごしていたさらなる力強さを発見できる。目の前にいる子どもの息遣い、あたたかさ、力強さはもちろんすばらしいけれど、映像で見ることによりはっきりと確認できることがある。これがDVDの良さだと思う。

学生のみなさんには、講義での限られた時間内では一部分しか視聴できなかった子どもの姿を、是非じっくり観て、感じていただきたい。

(看護学部小児看護学 宗村 弥生)

※飯田図書館には、「ハリー・ポッターシリーズ」「図書館戦争」など映画のDVDもあります。

データベース：The Oxford English Dictionaryオンライン版

山梨県立大学では学内のパソコンから『オックスフォード英語辞典』（OED）を利用することができます。
<http://www.oed.com>でアクセスしてください。

OEDは世界最高峰の英語大辞典として62万以上の見出し語を収録しています。ここでは、OEDが普通の英語辞典と異なる点を二つ挙げて、その特徴を簡単にご紹介したいと思います。

その1. OEDでは、現在使われている英語の意味を確認できるのはもちろん、数世紀前からの用例が示され、各語の歴史をさかのぼって知ることが可能です。たとえば「図書館」を意味する“library”を調べると、中世の詩人チョーサーが使った用例（1374年頃）をはじめ、20世紀に至るまでの幾多の文例と、意味の変遷を具体的に知ることができます。

その2. 特定の単語が英語として使われてきた様子を年表（Timelines）で知ることができます。使い方の例を挙げると、Timelinesでは、たとえば日本語から英語に定着した単語を調べることができます。全517語が時代ごとにグラフで示されます。たとえば「味噌」を表す“miso”は、1615年以来現在まで使われているおなじみの語です。年代別では18世紀後半に英語で使用されるようになった日本語の言葉の数が最も多くなっていることがわかります。

オンライン版がなかったころ、人々は分厚くて重い紙の辞書（全20巻）を手に、あるいは虫眼鏡を使ってコンパクト版をのぞき込むようにして、ひとつひとつ単語を調べていたものです。今は便利な世の中になったのです。是非有効にご活用ください。

(国際政策学部 高野美千代)

※その他、図書館で導入しているおもなデータベースです。

日経テレコン21（新聞・ビジネス情報）、CiNii（全国の大学図書館で所蔵する資料・論文）、山梨日日新聞データベース、
医中誌Web（国内医学関連論文）、JDreamⅢ（科学技術文献情報）、最新看護索引Web、CINAHL Plus（看護学関連文献）、
PubMed（海外の医学・看護学関連論文）など

ここでは、両館でみなさんにお知らせしたい図書館の情報や図書館で起きたできごとなどを紹介します。

< 阿刀田 高氏文芸トーク開催 >

平成28年10月22日（土）、飯田キャンパスA館 サテライト教室において、作家で山梨県立図書館長の阿刀田高氏をお迎えした講演会「人はなぜ小説を求めるのか」を開催いたしました。

阿刀田氏のユーモアを交えた楽しいご講演の後には本学の学生とのトークセッションもあり、有意義なひとときとなりました。



飯田図書館

バリアフリー
設備を
導入しました

飯田図書館は、ほとんどの本が2階にあるため、車椅子の方、歩行が困難な方には利用しにくい面がありました。

そこで、平成27年度末、可搬型電動階段昇降機「ステアエイドSA-SW」を導入しました。

専用の車椅子を装着、職員が操作して階段を上がる形です。ご利用される方はお気軽に職員にお声掛けください。



看護図書館

最近では雑誌の発行形態がこれまでのように冊子体ではなく、電子媒体のものに移行されるようになってきています。当館の所蔵雑誌でも電子版へ移行したタイトルがありますので、ご利用の際はご注意ください。

電子化された
和雑誌が
あります

タイトル	電子版移行巻号数	閲覧方法
日本看護科学会誌	第34巻（2014）～	「J-STAGE」上での公開です。看護図書館ホームページの「電子ジャーナル（和）」からアクセスできます。講演集は冊子体での発行です。雑誌コーナーをご確認ください。
日本看護研究学会雑誌	第37巻（2014）～	CD-ROM版の発行です。雑誌コーナー看護系書架の最後尾をご確認ください。
日本看護学会論文集	第42号（2012）～	「最新看護索引Web」上での公開です。看護図書館ホームページの「データベース」からアクセスしてください。館内のみご利用可能です。

編集後記

今回の特集「図書館をもっと身近に！」いかがだったでしょうか。

ご寄稿頂きました皆さま、ご協力ありがとうございました。

飯田・看護図書館ともに、学部に沿った特徴を持つ図書館です。自分が所属するキャンパスはもちろん、違うキャンパスの図書館に行ってみるのも、発見があって面白いと思います。ぜひ、図書館をご利用ください！

（原 さとみ）

図書館だより YONZYA（よんじゃー） Vol.12
平成28（2016）年12月1日発行

編集・発行

山梨県立大学飯田図書館

甲府市飯田5-11-1 TEL：055-224-5340

E-mail：lib@yamanashi-ken.ac.jp

山梨県立大学看護図書館

甲府市池田1-6-1 TEL：055-253-9429

E-mail：toshokan@yamanashi-ken.ac.jp